



コロナ禍からの学び



コロナ禍が始まって2年以上、当センターも感染防止対策と通常診療の両立という難しい課題に取り組んできました。困難な状況を通して学ぶことも多く、コロナ禍によってこれまでなかなか進まなかったことが変わる機会にもなるかもしれないと思うことがあります。

その一つは、入院期間の短縮です。感染流行期には、院内外の出入りを減らす必要に迫られ、救急・急性期病棟からも試験外泊をせず患者さんたちに退院していただいていた。

当初、早期の病状再燃などが懸念されましたが、実際には多くの方々がそのまま通院治療で安定して生活されています。実は病棟でなくてもできる治療、支援がたくさんあって、精神科医療の地域移行はもっと進められるだろうと強く感じています。

国の施策としても「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が求められており、当センターでも今後、アウトリーチ支援や外来治療のさらなる充実をめざしていこうと考えております。

所長 田口 寿子



Contents

● コロナ禍からの学び

● 部署リレー

- ・ 依存症(2B)・ストレスケア(3B)
- ・ 思春期(4B)・救急(5B)

● 神奈川県依存症治療拠点機関事業

- ・ 依存症家族セミナー
- ・ 依存症セミナー
- ・ 中高生のインターネット・ゲーム依存症家族WEBセミナー

依存症（2B）

2 B病棟はアルコール、様々な薬物やギャンブルの依存症の患者さんが入院している病棟です。多職種で連携し寄り添いながら、生き辛さを抱える患者さんが自分自身と向き合い生活していけるよう支援しています。

新年度、新しい看護スタッフが加わりました。専門的な知識、技術が必要になりますが、皆で協力し互いに成長できるよう頑張っていきたいと思います。



ストレスケア（3B）

3 B病棟は、うつ病を中心とする気分障害や神経症性障害の方を対象とした開放病棟です。病棟内は、静かなプライベート空間が提供できるよう、30床全室個室を用意しています。

病棟では、医師と看護師、薬剤師、管理栄養士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士などが連携して疾患の診断から治療に携わり、各職種の視点で、患者さん一人ひとりにとって望ましい支援の検討が行われています。病棟日課では、週4回、誰もが参加できる「自分プログラム」を行っています。認知行動療法（CBT）や動機づけ学習会（STEEP）等の学習会、アロマセラピーや体操、創作等多様なプログラムは、職員の専門学習やリフレッシュに役立てられていると共に、患者さんの日中の活動を支援しています。

また、抑うつパスを用いて、他職種と共に治療・看護を展開しています。さらに、令和元年7月から、他院に先駆けて経頭蓋式磁気刺激療法（rTMS）による治療も行っています。



思春期（4B）

4 B病棟は中学生～高校生を対象としており、チーム一丸となって子どもたちの治療や看護にあっている思春期病棟です。

また、通常のプログラムや遊びに加えて、入院生活においても少しでも楽しみや喜びを感じてもらうために、夏祭りや運動会、クリスマス会といった季節行事も開催しています。

さらに、今年度は新たに2名の看護スタッフが入职しました！様々な刺激をもらいながら、笑顔で楽しく、パワフルにやっていきたいと思っています。



救急（5B）

5 B病棟は、神奈川県精神救急医療の基幹病院として5 A病棟と連携しながら、疾患や年齢が様々な患者さんを受け入れている救急病棟です。

入院時より専門職からなる医師・精神保健福祉士・薬剤師・作業療法士・臨床心理士で構成される医療チームで、3ヶ月以内の早期社会復帰を目指し短期集中治療を行っています。

今年度は大学を卒業した新人看護師1名が配属されました。新人の頃は病院の業務自体が初体験であり、精神科の知識・技術も必要になります。そのため、プリセプターグループを中心に、少しずつ慣れていけるように病棟全体でサポートし、互いに頑張っていきたいと思っています。



神奈川県依存症治療拠点機関事業の一環として、様々なイベントを行いました。

○依存症家族セミナー (1月27日)

依存症患者さんの家族向けに、依存症に対する理解を深めるとともに家族の対応、社会資源について学ぶセミナーを開催しました。当初は対面とZOOMの開催を予定しておりましたが、コロナ蔓延のためZOOMなどで実施しました (参加者23名)。



○依存症セミナー (2月9、10日)

県内在住・在勤の依存症患者の支援者向けに、依存症に対する理解と、現場での生きた対応方法を学ぶセミナーを開催しました。2日目にはグループワークで架空事例について検討を行うなど講義以外の内容も取り組み、12名に対して修了証を発行しました。



○中高生のインターネット・ゲーム依存症家族WEBセミナー (3月3日~31日)

中高生のインターネット・ゲーム問題に悩む家族向けに、依存症や家族の対応について学ぶセミナーを開催しました。動画配信形式で、家族以外にも依存症患者の支援者等にも参加いただき、96名の申し込みがありました。



センターニュースではみなさんのご意見を随時募集しています。取り上げてほしいテーマや、ご要望がある方は下記メールアドレスまでご連絡ください。

神奈川県立精神医療センター 総務課 soumu.1517@kanagawa-pho.jp